

大阪港駅(地下鉄中央線)①

築港赤レンガ倉庫となみはや大橋と

「大阪あそび歩マップ集」
その1 No.014

地下鉄大阪港駅

① 築港温泉

昭和27年(1952)開業。モザイクタイルなどが貼られ、昭和のレトロムードがあふれている風呂屋です。築港のまちづくり、まちおこしの拠点としても利用され、浴場の音響を利用した音楽ライブ・コンサートや、落語寄席、写真展などを実施しています。



② 築港高野山

かつて弘法大師が難波津(大阪の港)から唐に留学して、わが国に真言密教を伝えたのを顕彰するため、明治43年(1910)に建立されました。当時は7800坪の大伽藍で「東の四天王寺、西の築港高野山」と呼ばれるほど参詣者が集いましたが、昭和20年(1945)の大阪大空襲にて焼失。昭和27年(1952)に天保山運河高野堀拡張のため、以前の15分の1の規模に縮小されて現在地に移転しました。



③ 港住吉神社

▼ 住吉大社の境外末社で、天保13

年(1842)に大阪港に出入りする船の航海安全や、漁労安全を祈って祀られました。境内には「ざこば」「塩魚」「干鯛」「うつぼ」「北組」「南組」といった石塔群がありますが、これは永代浜(大阪市西区)の住吉神社を明治末に合祀した事情によります。

④ なみはや大橋

大阪市の港区海岸通と大正区鶴町とを結ぶ尻無川に架かる全長1740メートルの橋です。流線形を描いた長大橋で、中央部の水面からの高さは45メートルもあります。大阪ドーム、昭和山、通天閣、WTCコスモタワー、天保山大観覧車など、大阪のランドマークが一望できて、夜景が美しいことでも定評があります。

⑤ 海岸通ギャラリーCASO

▼ 現代美術のためのレンタルスペースで、CASOとは「Contem-

porary Art Space Osaka」の頭文字からとったネーミングです。もとは住友倉庫だったので、国内外の現代美術作家の展示から大学、行政、企業主催の企画展などで利用されています。

⑥ 築港赤レンガ倉庫

▼ 築港が国際港として整備されると、大正12年(1923)に物流拠点として住友倉庫が竣工しました。昭和3年(1928)には鉄道が開通し、貨物列車の発着駅となり、国内外の港を結ぶ貨客船の貨物積み降ろしが行われていました。しかし戦後、昭和40年(1965)以降になると、貨物運搬はコンテナ(貨物を納めた移動式倉庫)が主流となり、赤レンガ倉庫は必要とされなくなり、平成11年(1999)に倉庫としての役割を終え、現在は大阪市が管理しています。

地下鉄大阪港駅

